

カリキュラムマップ

	▶ 1年次 (第1・2セメスター)	▶ 2年次 (第3・4セメスター)	▶ 3年次 (第5・6セメスター)	▶ 4年次 (第7・8セメスター)
学びの深まり	大学で学ぶ意義を自覚する PCや日本語表現の技能を習得する 国際文化交流に必要な語学力を習得する	国際文化交流に必要な語学力を習得する 多角的な視点から国際社会を理解するための 基礎的な技能・知識を習得する	幅広い学びを通して、本当に探求したいテーマを見つける	研究課題を決めて主体的に研究を進め、 グローバルな視点から世界と日本をつなぐ 卒業論文・卒業研究
国際コミュニケーション学科専門科目	● 国際コミュニケーション基礎演習Ⅰ・Ⅱ	● 国際コミュニケーション基礎演習Ⅲ・Ⅳ ● 英語演習Ⅰ・Ⅱ	● 国際コミュニケーション演習Ⅰ・Ⅱ ● 外国語演習Ⅰ・Ⅱ	● 国際コミュニケーション演習Ⅲ・Ⅳ
1・2年次には異なる教員の指導のもとで学び、3年次(第5セメスター)以降は選択したコースに分かれ、3・4年次とも同じ教員の専門演習を履修し、卒業論文・卒業研究をまとめます。	● 国際関係基礎科目群 ● 地域文化系基礎科目群 ● 英語圏文化基礎科目群	● 国際関係専門科目群 ● 地域文化系専門科目群 ● 英語圏文化専門科目群	● 卒業論文・卒業研究	
共通科目 (→ P.33)	● 外国語科目1群 (英語) ● 情報リテラシー ● 表計算ツールとデータ分析 ● 日本語表現法 ● 外国語科目2群 (英語以外の外国語)	● 外国語科目1群 (英語)	● 特別総合科目群 ● 国際文化交流論科目群 ● 共通基礎科目群 ● 人間・環境系科目群 ● スポーツ・健康科学演習科目群 ● 伝統文化演習科目群 ● 国際文化交流演習科目群 ● 生活文化演習科目群 ● 社会演習科目群 ● 多文化学際科目群	
諸学問の基礎を学び、幅広い教養を身につけるとともに、様々な分野の専門家・実務者による講義や指導を受けることができます。			コース登録制度【※1】 国際関係コース 地域文化コース 英語圏文化コース ジェネラルコース【※2】	

【※1】3年生(第5セメスター)から4つのコースに分かれます。登録するコースごとに定められた専門科目の中から12科目以上を選択して履修します。
【※2】ジェネラルコースは国際コミュニケーション演習と卒業論文・卒業研究を履修せずに、他のコースより8科目多く履修します。

他学科専門科目

国際コミュニケーション学科の専門科目以外にも、一人ひとりの興味・関心に合わせて、他学科の専門科目の履修が可能です。

f-Campus 提供科目 (5大学単位互換制度) → P.36

学習院女子大学の授業に加え、学習院大学、日本女子大学、立教大学、早稲田大学が提供する科目も履修することができます。

カリキュラムの詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。

https://www.gwc.gakushuin.ac.jp/faculty/g_intercultural/curriculum.html



ピックアップ科目



国際法Ⅱ

現代の国際法は、人権や民主主義を重視します。新国家の誕生・領域の取得・政府の非合法的な変更も実効的支配一本ではなしえない様を、国連やICJの実践を通じて概観します。



文化遺産学

各地の文化を形づくる景観、建造物、祭り、料理等が、社会におけるコミュニケーション、持続可能な開発、戦災や災害復興にどのように貢献しているのかについて考えます。



中国文化論

中国特有の政治文化、その地域的・民俗的多様性も踏まえながら、現代中国に関する多様な問題を議論します。種々の映像資料も利用しながら、多面的に中国について考えます。

ゼミナール



国際コミュニケーション演習 [澤田ゼミ]

「虚構」から現れる現実・真実とは

英語のフィクションを読み、英語圏文学・文化について学び、「語る」という行為や、私たち自身と社会に関わる多様な問題を考えます。



国際コミュニケーション演習 [石澤ゼミ]

国際関係や政治とメディアの関係を読む

アメリカ・東アジアと日本との関係を中心にした国際関係をメディア・情報・世論から分析するゼミです。国際問題への洞察とメディア理論で深めていきます。

▶ 卒業論文・卒業研究題目のテーマ例 (2022年度)

- 東急と渋谷の街から考える未来の都市
- 中国の若者問題～若者問題による影響と今後の展開～
- モダン・ホラーは何を語るかースティーヴン・キングが描くものとはー
- 人道的干渉の合法性ー国際法理論の展開状況を踏まえてー
- フェミニズムの視点からみる『フランケンシュタイン』
- 地方公共団体の環境保全型農業の取組みに関する定量的分析
- 中・東欧における香りの歴史と文化ーバラとラヴエンダーを中心にー
- 自己認識とアメリカ革命ー1756年から1776年における「アメリカ人」の誕生ー
- 体験を通じたフランスワイン
- 女性正規雇用をめぐる諸問題の日韓比較ーその現状とDXの可能性ー

専任教員紹介



石澤 靖治
教授
国際コミュニケーション論、米国政治



伊藤 由紀子
教授
国際協力、NPO、NGO



ウーゴ・ミズコ
教授
建築学、歴史的建造物の保存修復史



佐久間 みかよ
教授
アメリカ文学・文化



櫻井 大三
教授
国際法



櫻井 宏明
准教授
国際経済、日本経済、アジア経済



澤田 知香子
教授
英語圏文学(イギリス小説)・文化、ポストモダニズム理論



江藤 正己
准教授
図書館・情報学(情報検索、情報システムなど)



大桃 敏行
教授
教育行政学、教育制度論



北川 香子
教授
東南アジア史・地域研究



武井 彩佳
教授
ドイツ現代史、ホロコースト研究、エスニシティ研究



中島 崇文
教授
中・東欧の歴史、政治、宗教、社会、文化、民族問題



島山 圭一
教授
国際政治、アメリカ政治外交、日米関係



古庄 信
教授
英語学(歴史統語論、特にシェイクスピアと聖書の語法)・イギリス文化



金城 亜紀
教授
経営学、経営史



金野 純
教授
社会史、歴史社会学、東アジア地域研究(主に現代中国)



熊谷 英憲
教授
環境科学(地球環境学〈海底環境、海底火山、海底資源、環境放射線〉)



正本 忍
教授
フランス近世史、社会史、法制史



丸山 信人
教授
コミュニケーションデザイン、メディア・コンテンツ、社会情報学



羅 京洙
教授
国際関係論、国際移動論、東アジア地域研究、現代コリア研究